

感謝の種まき

川田 凜

「ありがとう」あなたは、一日に何回この言葉を口にしていきますか。わたしの今年の目標は、この「ありがとう」を、一日に必ず一回は言う、ということですよ。

わたしは、国際平和のためには、日々の感謝の気持ちがあ、とても大切だと考えています。

「えっ、そんなことかたんじやない？」

「感謝なんて、国際平和に関係あるの？」

「そう思った人もいるかもしれません。何かを拾ってくれたら、「ありがとう」助けてもらったら「ありがとう」あまり、国際平和とは関係ないような、小さな小さな感謝の気持ち。しかし、それがしだいに大きくなって、世界中の国への感謝の気持ちとなるのです。日本はこれまで、東日本大震災などの災害の時に多くの国から支援を受けました。わたしの祖母は、被災地に住んでいます。避難所生活をしていた頃、当時は、また来る

かもしれない、大きな余震や放射能への不安もありました。そんな中、海外の方たちは、自分が危険な目にあうことをおそれず、見ず知らずの人たちのために、どろだらけになっ  
て、がれきを除去したり、物資の運搬をして  
くれたりしたそうです。祖母は「言葉は通じ  
なくても、心がすごく通じた。一生忘れるこ  
とができない。」と、今でも言っています。わ  
たしたちも困っている日本を助けてくれた他  
の国への感謝の気持ちを忘れることができま  
せん。

しかし、残念ながら過去の戦争や文化、価  
値観などのちがいから、他の国をよく思わな  
い場合もあります。

お互いの国とのちがいを理解し、認め、よ  
い点を知り、感謝することが大切です。一人  
ひとりの気持ちは、その人たちに届き、やが  
て、それぞれ  
の国に対する気持ちも変化する  
のでは、と考えます。

わたしたちは、日々の生活の中で、だれか

